

写真家、竹田津實さんが北海道文化賞

本町在住の写真家、竹田津實（みのる）さん（71）が自然保護活動と地域文化振興の功績で、平成20年度北海道文化賞を受賞しました。11月5日、札幌市内のホテルで授賞式、受賞祝賀会がありました。竹田津さんは雅子夫人と2人で出席、道教育委員会の橋場昇教育委員長から賞の授与を受けました。



護、治療、リハビリテーション活動、野生動物を中心とした写真撮影など創作活動を続けました。動物愛護に関する書籍出版でレイ・ガスコイン賞受賞（1977年）、ナショナル・トラスト「オホーツクの村」建設活動に参加（1979年）、

英国「ワイルド・スクリーン」⁸⁶で自身の監督作品「LORDS OF HOKKAIDO」が審査員特別賞（1986年）、東川町国際写真フェスティバル特別賞（1988年）、小清水町文化賞（1992年）、同町特別功労者（1998年）など。自著「子ぎつねヘレンのこしたも」(偕成社刊)が「子ぎつねヘレン」として映画化（2006年）。「オホーツクの十二か月」(福音館書店)が産経児童出版文化賞、福田清人賞を受賞（2007年）。

大分県国見町出身。岐阜大農学部獣医学科卒（1963（昭和38）年）。同年網走管内小清水町の農業共済組合家畜診療所に獣医師として赴任。1991（平成3）年の退職まで、約30年間、地域の家畜診療などに貢献しました。1966（昭和41）年からキタキツネの生態調査を始め、野生生物保

町社会福祉大会開く

10月25日、東川町社会福祉協議会主催の第32回東川町社会福祉大会が農村環境改善センターで開かれました。

町内社会福祉の関係団体、民生委員などから約300人が参加しました。席上、小坂忠会長は「住民の参加なくして地域福祉は達成できない。また介護が必要になったとしても残された活力を生かして生きることが共通のテーマ」とあいさつ。松岡市



郎町長は式辞の中で「生き生きと暮らし、外の人と話をできる機会を作ることには元気の源」と交流が出来る環境づくりの大切さを話しました。大会では、東川第一小6年、千田蘭さんが「老人会との交流」と題して作文発表するなど、5人が日ごろの福祉活動の活動振りを作文発表しました。

表彰として10人が受賞しました。また北海道共同募金会から4団体1人が感謝状を受けました。以下、表彰者は次の通り（敬称略）。
◇社会福祉協議会会長表彰
▼表彰状 大石久子、藤田優子（以上民生委員児童委員）、松木恵子（社会福祉協議会職員）▼感謝状 宮坂幸好、平崎聰子、大森洋一（以上前社協役員）、大木長藏、工藤好美、井上ひとみ、梁田達也（以上ボランティア実践者）
◇北海道共同募金会会長感謝状
東川町赤十字奉仕団、東川町農業協同組合、東川ライオンズクラブ（以上募金功労団体）、平崎聰子（募金功労個人）

男性介護者の会「ぼだい樹の会」が活動開始

今年7月に結成された男性介護者の会「ぼだい樹の会」（金内肇会長）は10月9日、地域生活支援センター「かたくり」（西2号北5）で初の例会を開きました。



「介護で苦労しているのは自分だけではない、ということが分かって、気持ちが一変しました」「この10年間で妻への介護が喜びの介護に変化しました」などと経験を分かち合いました。

家庭内で介護を要する家族を抱えている町内在住の男性、その家族が日ごろの悩みを共有して励まし合うのが狙い。同時に家事や介護の工夫を学び合っ

た。交流会を通してお互いに共感とリフレッシュを図ることも目的です。約20人でスタートしました。日ごろの出来事、介護の様子、昔

東川町立診療所の院外薬局建設着工

来年3月中旬ごろからの業務開始を目指して、町立診療所（木下透所長）の院外薬局が建設着工しました。診療所正面玄関の右脇用地約200平方メートルに、木造平屋造りレンガタ



10月30日に行われた着工式

イル張り約150平方メートルを建設します。旭川薬剤師会（藤沢芳則会長）が100%出資して設立した株式会社調剤センター（本社東川、資本金千万円、藤沢芳則社長）が運営します。町内の薬剤師2人が常駐し、町立診療所のほか、各医療機関の処方箋（せん）に応じた薬剤を提供、一般医療製品の販売も行います。介護・福祉用品の展示紹介も検討しています。

町民総合文化祭芸術発表会

10月25日から11月3日まで10日間、11月20日の2回に分けて第38回町民総合文化祭が農村環境改善センター、文化ギャラリーなどで開かれました。トップを切ってスタートしたのは、文化ギャラリー会場の町民作品展。山麓会の陶芸作品や盆栽、短歌・俳

句の力作が会場いっぱいに並びました。前半のメイン行事、文化芸術発表会が農村環境改善センターで8団体が出演、約300人の会場を沸かせました。例年大好評の旭川福祉専門学校生の舞台は、保育科学生のオペレッタ「小びとのくつや」と人形劇「ブレイメンの音楽隊」、ハンドペ

ルの演奏Ⅱ写真Ⅱ。きれいな音色に大きな拍手が沸きました。後半の20日は、東川中学校で町内小中学校と幼児センターの児童、生徒らが出演して「東川町児童・生徒音楽の集い」が開かれました。

